

No.224
2022.11.1



半田市議会広報へ

はんた 市議会だより



半田市議会
YouTubeサイトへ

本会議の様子が
ライブ中継で
視聴できます。
スマートフォン等から
ご視聴ください。

- 一般質問、8人が市政を問う！
- 9月定例会審議結果
- 決算認定議案の審査より
- 議会事業評価を行いました
- 議員勉強会報告

P.2~4
P.5~6
P.7~8
P.9
P.10

表紙写真：本会議ライブ中継視聴のご案内

市政を問う

一般質問

9月定例会における市政に関する一般質問は、8月30日、31日に行われ、8人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は11月25日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

問 個人の庭や店舗の入植栽を一般に公開する

答 これまでに、さつき展やフラワーコンクール、苗木の配布など行ってきましたが、環境や景観の観点からも花木に愛着を持つことは大事です。今後は愛知県が実施する緑化研修を市民が利用できるよう情報提供をしていきます。

問 花に愛着を持つ人を増やすためには、専門家による講座を設けるなど新たな取組みが必要と考えますがいかがですか。

答 半田市は、自然が持つ多様な機能を社会基盤整備や土地利用に活用する「グリーンインフラ」の考え方で、まちづくりを行っています。市民や事業者も同様に緑化に取組んでいただきたいと考えています。

問 地球温暖化対策や美しい景観形成に重要な、花と緑を増やすことへの考えを伺います。

花と緑あふれるまちづくりへ



自民クラブ 加藤美幸

問 「オープンガーデン事業」を実施する考えは、ありますか。

答 多くの人に見てもらおうことで、緑を育てる楽しみやモチベーションの向上に繋がると考えますが、訪れる人のマナーにより騒音や迷惑駐車なども懸念されることもあり、慎重に検討する必要があります。まずは、フラワーコンクールに参加している皆さまに意向を伺います。

問 花づくりや緑化についてアドバイスを指導のできる市民を「マイスター」に認定する制度を設けてはいかがですか。

答 専門家による「景観アドバイザー制度」で、市民や事業者の花づくりや緑化を景観に活かすための取組みを行っています。新たな「マイスター」制度は考えていません。

問 公共用地の花壇設置に対し、協賛金を出資していただく「スポンサー花壇制度」の実施について、どう考えますか。

「オープンガーデン事業」を実施する考えは、ありますか。

答 今後は公園や道路の植樹帯などへの花壇のスポンサーとなる企業などの募集にチャレンジします。



問 マスク着用の指導はどのようですか。

答 熱中症の恐れがある場合、マスクを外して活動するよう指導しています。

問 保護者に対する説明はどのようですか。

答 様々な通知や学校だより、保健だよりで指導内容をお知らせし、マスクの着用について理解を図り、熱中症リスクの高い日の登下校や屋外活動では、マスクを外して活動するよう理解と協力を求めています。

問 マスク着用の指導はどのようですか。

児童生徒のマスク着用



チャレンジはんだ 國弘秀之

問 自殺者の実情をどう捉えていますか。

答 半田市における過去10年間の自殺者数23名の推移については全国的な傾向と同様です。コロナ禍における環境変化に加えて、影響の長期化による孤独感、孤立感が顕在化したものと推察しており、これまで通り、年代に応じた社会的要因を踏まえた対策に継続的に取り組むことが重要であると認識しています。

問 これまで行ってきた自殺対策の評価はどのようですか。

答 自殺の背景には様々な社会的要因があり、長期化するコロナ禍のもとでは複雑化しやすいため関係部署や機関等が連携して支援しています。

問 半田市における自殺対策

用

用の方を繰り返し周知するなかで、マスクをするべき時と、外すべき時を分かりやすく指導するように努めています。また、様々な理由で、マスクを着用できない場合、家庭と十分相談したうえで合理的な配慮ができるよう、職員間で共通理解を図っています。





創造みらい半田
岩田 玲子

小学校のプール授業

問 プールの授業は梅雨の時期と重なり、年に2回しか行えない学年がある等、天候に左右されるものが多く不安定です。また、天気が良い日のプールサイドは熱くなり裸足で歩くのは危険な状況です。他にも、プールの老朽化が進行し、水漏れ等の影響により、教員による管理は年々大変になっていきますが、そのような声は届いていますか。

答 天候に左右されることは把握しており、課題と考えています。また、老朽化による水漏れや、管理の負担増は把握しています。

問 各校で授業を実施する場合とぶれあいプールや、民間スイミングスクールを利用した場合のコストを伺います。

答 小学校にプールを設置し、40年間利用することを想定し、維持管理や改修等に係るコストを比較した場合、外部委託のほうが、安価となる見込みです。

問 今後は、全ての学校で、天候に左右されずに、安全で、安心なプール授業が行われる環境を整えることが大切と考えます。水泳指導計画の今後の方針についてお伺いします。

答 小学校のプールを廃止し、水泳指導を民間事業者へ委託することは、教員の負担軽減に繋がるとともに、気候や天候に左右されない、安心で安全な授業の実施や質の高い水泳指導など、様々な効果が期待できます。現在は、成岩小学校、花園小学校、亀崎小学校について外部委託によるプールの授業の実施準備を進めているところですが、その他小学校でも、学校の改築やプール改修が必要な学校から段階的に進めていきます。将来的には、市内全小学校のプールの授業の委託を実施していきます。



公明党
坂井 美穂

養育費確保のための支援

問 半田市における養育費確保の支援の現状を伺います。

答 離婚届を取りに来られた方に「子どもの養育に関する合意書作成の手引き」を渡しています。また、父子母子自立支援員が助言を行っており、専門的な知識が必要な場合は、法テラスや養育費相談支援センターを案内しています。

問 養育費を取決めないという事態を回避するために、親の離婚を経験する子の福祉に関する情報や養育費を決めるための法的な知識を得られる「離婚前後の親支援講座」を開催するべきと考えますが、見解を伺います。

答 プライバシーに配慮した現状の個別相談形式が望ましいと考えていますが、オンラインでの親支援講座について調査し、有用と判断できれば検討します。

問 ADR（裁判外紛争解決手続）の活用を

促すことで、早期に解決し、養育費の取決め率アップに繋がると思いますが、見解を伺います。

答 早期解決や取決め率アップのために、ADRについて周知していきます。

問 取決めた養育費の不払い対策として、公正証書の作成や調停及び審判の費用、養育費保証会社の費用の補助を行うべきと考えますが、見解を伺います。

答 離婚は親の意思によるものであり、養育費を得るために必要な経費は当事者が負担すべきものです。税を投じて補助する考えは持っていない。養育費保証会社については調査し、情報提供していきます。

男性用サニタリーボックスの設置

問 疾患のある方や多様な性を尊重し、男性用トイレの個室にもサニタリーボックス（汚物入れ）を設置すべきと考えますが、見解を伺います。

答 半田病院、市庁舎をはじめ、すべての公共施設の個室トイレに設置を進めていきます。



チャレンジはんだ
伊藤 正興

ネーミングライツへの取り組み

問 現時点でネーミングライツに対してどのように考えていますか。今後、半田市もネーミングライツを早急に始めるべきと考えますが見解を伺います。

答 令和4年度に入り、市内の企業等の声を聞いたところ、一定のニーズがあることが分かったため、早急に導入できるよう、既にガイドラインの素案作成に着手したところです。現在、庁内の関連部署と連携し、制度設計を進めており、令和5年度開始に向けて取組んでいきます。

指定ごみ袋の新たな活用を考える

問 指定ごみ袋に関する利便性向上についての検討はどのように行われていますか。これまでに改善した点や、今後改善する予定はありますか。令和3年4月から実施したごみの有料化に伴い、他の自治体の採用状況に加え、3Rアド



バイザーや市の公式LINE登録者へのアンケート及び資源回収ステーション利用者への聞き取り調査などを参考に検討を進めてきました。その結果、新たな改善点は、燃やせないごみについても指定袋制としたほか、手提げ袋型への変更、外国語表記ややさしい日本語とイラスト表記等を行いました。今後の改善については、現時点では予定していません。

問 現行のごみ袋のサイズより小さなサイズが必要と考えますが、今後、検討しますか。

答 現在、半田市の世帯の40%が単身世帯です。様々な声を聞くなかでサイズを検討していきたいと思えます。

問 半田市も地域の事業者と協力し、指定ごみ袋をレジ袋として活用することを提案しますが見解を伺います。

答 ごみ袋をレジ袋として活用することは、プラスチックごみの削減につながる有効な取組みの一つであり、今後、市内の指定ごみ袋等取扱店約180店舗へPRするなかで、協力を求めています。



チャレンジはんだ 水野尚美

実 保育制度の改善と充

問 育休退園をされた方...

答 市長への手紙などで...

問 全ての保育園で保護...

答 今年12月に園評価と...

問 今後、育休退園の見...

答 育休退園を今後も統...

問 現状のままでは、女...

答 動き続けながら安心...

問 0歳から2歳児まで...

えた上で、育休退園制度...

問 現状のままでは、女...

答 動き続けながら安心...

問 全ての保育園で保護...

答 今年12月に園評価と...

問 今後、育休退園の見...

答 育休退園を今後も統...

問 今後、育休退園の見...

答 育休退園を今後も統...

問 今後、育休退園の見...

答 育休退園を今後も統...

問 今後、育休退園の見...



志民ネット 中村和也

交通渋滞の解消策

問 衣浦大橋の左折レー...

答 令和4年度中の供用...

問 北側トラス橋の架け...

答 昨年1年間に、衣浦...

問 愛知県建設委員...

答 愛知県建設委員...

問 衣浦大橋西側周辺...

答 衣浦大橋から半田に...

問 衣浦大橋西側周辺...



しています。並行する都...

問 衣浦トンネルの利便...

答 令和3年11月に、碧...

問 ベンチャー企業とス...

答 ターゲットアップ企...

問 刻々と変化する社会...

答 情勢や地域課題の解...

問 STATION Aのパート...

答 スタートアップ企...

問 スタートアップ企...



志民ネット 小出義一

公共工事契約適正化

問 公共工事の入札と契...

答 ダンピング受注によ...

問 法制定の後も、内容...

答 県下の公共工事に関...

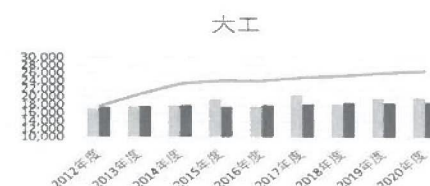
問 労働環境における改...

答 善については、法令...

問 適正な発注が行われ...

答 適正な発注が行われ...

問 適正な発注が行われ...



審 議 結 果 令和4年第8回定例会(8月30日～9月28日)

■全会一致の案件

議案 番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
61	令和4年度半田市一般会計補正予算第5号 総務：寄附金を各基金に積み立てるもの 文教：オミクロン株に対応する新型コロナウイルスワクチン接種事業費など 建設：道路新設改良費として、新半田病院建設用地の南側アクセス道路改良工事の負担金を病院事業会計に支出するものなど
62	令和4年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号 (特定健康診査等負担金分などが確定し、超過交付分を国や県に返還するもの)
63	令和4年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第1号 (令和3年度の介護給付費負担金などの額が確定し、超過交付分を国・県・社会保険診療報酬支払基金へ返還するもの)
64	令和4年度半田市立半田病院事業会計補正予算第2号 (新病院建設事業における予算を補正するもの)
65	半田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について (「地方公務員の育児休業等に関する法律」が改正されたことに伴い、「半田市職員の育児休業等に関する条例」の一部を改正するもの)
66	半田市手数料条例の一部改正について (既存住宅流通活性化のための良質な住宅を認定する制度が創設されたことに伴い、新たに半田市が認定事務の手数料を徴収するため、半田市手数料条例の一部を改正するもの)
67	乙川中学校改築工事請負変更契約の締結について (改築工事について、工事請負変更契約を締結するもの)
68	令和3年度半田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について (未処分利益剰余金を自己資金へ組入れるなど)
69	令和3年度半田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について (自己資本金への組入れおよび減債積立金へ積み立てるもの)
70	半田市教育委員会の委員の任命について (久米宏和氏と堀崎隆資氏を任命するもの)
71	令和4年度半田市一般会計補正予算第6号 総務：補正予算のうち繰越金について 文教：価格高騰の影響が大きい住民税非課税世帯等に5万円の臨時特別給付金を支給、65歳以上の高齢者等のインフルエンザワクチン接種を無料とすることなど
認定1	令和3年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和3年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和3年度半田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和3年度半田市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定2	令和3年度半田市立半田病院事業会計決算の認定について
認定3	令和3年度半田市水道事業会計決算の認定について
認定4	令和3年度半田市下水道事業会計決算の認定について
意見書案2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
議員提出4	半田市議会基本条例の一部改正について (情報通信技術の積極的な活用について条例に加えるもの)
議員提出5	半田市議会委員会条例の一部改正について (オンラインによる委員会の開催の特例について条例に加えるもの)
議員提出6	半田市議会会議規則の一部改正について (電子採決システムによる表決、諸会議へのオンラインによる方法の出席などについて条例に加えるもの)

※認定第1号については、各会計ごとに分けて採決しました。

■その他の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
報告14	専決処分の報告について(工事請負契約の変更)
報告15	令和3年度半田市決算に係る健全化判断比率について
報告16	令和3年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について
報告17	令和3年度半田市下水道事業会計継続費の精算報告について
報告18	知多南部卸売市場株式会社の経営状況について

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。	創造みらい半田								公明党			志民ネット			チャレンジはんだ			自民クラブ		無所属	議決結果		
		鈴木幸彦	芳金秀展	竹内功治	岩田玲子	渡邊昭司	沢田清	澤田勝	石川英之	山田清一	坂井美穂	山本半治	小栗佳仁	中村和也	小出義一	水野尚美	伊藤正興	國弘秀之	新美保博	嶋崎昌弘	加藤美幸		鈴木健一	
認定1	令和3年度半田市一般会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
認定1	令和3年度半田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
認定1	令和3年度半田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定
認定1	令和3年度半田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	認定

表の見方: 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員
 ※認定第1号については、各会計ごとに分けて採決しました。



高年齢者へのインフルエンザ予防接種助成は必要ですが、対象の拡大も検討して下さい。

高年齢者へのインフルエンザ予防接種助成は必要ですが、対象の拡大も検討して下さい。

高年齢者へのインフルエンザ予防接種助成は必要ですが、対象の拡大も検討して下さい。

議案71号に賛成

鈴木健一議員

賛成討論

住民税非課税世帯へ支援を行う補正予算は当然必要と考え賛成します。しかし、市民は物価高騰に苦しんでおり、課税世帯への支援も必要と考えます。市民全体への支援として、消費税減税の声を半田から上げる時です。

決算認定議案の審査より

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定案の審査を行い、いずれも認定されました。

委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

基金積立金

問 基金の不足はないとのことですが、長引くコロナ禍による税収減により、修繕費用が削減され、市民の安全性、快適性の低下が懸念されますが公共施設の維持管理は、どのように考えていますか。

答 学校や公民館など各施設基金の活用などにより適切な時期に大規模修繕・更新を行い、予防修繕・予防保全により適切な維持管理に努めます。

自治振興推進事業

問 地域担当職員配置地域数について、目標値22地域に対し、実績は19地域でしたが、どのような要因がありましたか。

答 希望される地域に職員を配置し地域活動を支援する制度で、未配置の3地域に市民協働課から働きかけましたが、配置には至らず、目標値に結びつきませんでした。

多文化共生推進事業

問 どのような成果が出てきていますか。また、課題をどのように捉えていますか。

答 外国籍市民の相談について、利用された方が属する独自のコミュニティを通じ相談窓口が周知され、相談件数が増加しています。一方で、相談内容から課題解決に繋がる施策へ如何に反映していくか、という点が課題であると認識しています。

感震ブレイカー設置促進事業

問 目標値500件に対し、実績が6件という結果をどのように捉えていますか。

答 市報やホームページ、チラシの配布などPRを行いました。6件の申請に留まりました。感震ブレイカー設置について、チラシのポスティングを行い周知に努めるとともに、設置補助金については検討する必要があると考えています。

市立半田病院

問 収益的収支について、純利益約8億円の要因は、空床補償補助金が増加したとありますが、その仕組みと収支状況については、どのよ

うに考えていますか。

答 コロナ患者用に、病床を空床にして確保するもので、令和3年度は、補償額が約6億円となったものです。また、空床補償補助金や市からの繰入金を含まない修正医業収支比率は、100%で、県内では半田病院のみが黒字となり、経営状況は、非常に安定していると考えています。

【総務委員会 決算審査の様子】



文教厚生委員会

地域福祉推進事業

問 アウトリーチ継続的支援事業について、切れ目のない支援のために教育機関との連携はどのように実施しま

したか。

答 半田中学校ではコミュニケーションソーシャルワーカーが学校の会議に出席し、スクールソーシャルワーカー他学校関係者との連携を行っており、今後は他の学校とも連携を図っていきます。

民間保育所運営事業

問 保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金について、この補助金により加算される賃金は一人あたりの程度の金額になりますか。

答 この補助金は、民間保育所で働く保育士等の収入を3%程度引き上げるもので、一人あたり月額で9千円程度です。

妊産婦家庭サポート事業

問 妊産婦家庭サポート支援員の令和3年度中の利用実績が5名で大変少ない。実績が伸びなかった要因と、利用促進のための検討は行いましたか。

答 この事業は事前申請制であるため、申請はされるものの実際には利用がない場合が多いことも実績が伸びなかった要因の一つです。今後は、保健師が相談を受ける際

[文教厚生委員会 決算審査の様子]



に、出産前後の家事育児に家族の協力を得ることが難しいと思われる方には、積極的に事業の利用申請を促していきます。

学校生活支援事業

問 支援を要する生徒児童は、それぞれの状況に合わせた必要な支援が受けられていますか。また、学校生活支援員の配置人数は適切であると考えていますか。

答 就学先や支援内容については、教育支援委員会にて個別に検討することとしていますが、最終的には保護者の希望を優先しており、状況

に応じて必要な支援を実施しています。

学校生活支援員の配置人数については、支援員の増員を求める声を現場から聴いていますが、人員を増やし続けることには限界があるため、今以上に教員や支援員の資質向上にも取り組んでいく必要があると考えています。

建設産業委員会

諸証明事務事業

問 窓口で発行する証明書の経費単価と、コンビニ交付での経費単価はどのようですか。

答 システム費等の算出は難しいため、含めずに計算すると、令和3年度は、270円程度です。コンビニ交付は、人件費を除いて算出すると、470円程度です。なお、コンビニ交付については、証明書発行枚数が増加するほど、経費単価は減少します。

地域振興券事業

問 事業を実施した結果、見えてきた課題はありますか。

答 各事業所が地域振興券を活用して次につながる取

組みを企画してもらえよう、取組み事例の紹介等を積極的にすべきだったと思います。今後、類似の事業を行う場合は、市民の意見も聞きながら、電子化も検討する必要があると考えています。

道路維持修繕事業

問 道路の破損が原因の道路管理瑕疵に起因する事故を防ぐために、令和3年度にどのような取組みを行いましたか。

答 半田市を7か所に分け、職員が2人1組で、月2回ずつ、道路パトロールを行っています。月2回のうち1回は徒歩によるものとし、きめ細かいパトロールができるよう心掛けています。側溝蓋のがたつきや、車止めの破損等を重点的に点検しています。

JR武豊線連続立体交差事業

問 高架化の空間活用について、市民、事業者等にアンケートを実施したのですが、結果はどのようですか。

答 市民アンケートでは、商業施設の設置ニーズが大

きく、半田小学校、港本町付近では、教育施設や、福祉施設の設置を希望する声もありました。回答があった事業者のうち、約45%が、高架下空間の活用に携わりたい意向であることがわかりました。

半田運河周辺整備事業

問 人道橋の整備について、どのような効果がありましたか。

答 景観の出前事業を行っている半田小学校の児童からは、「よく利用する」「便利になった」との声があります。周辺企業の方が、喜んでおり、橋の清掃活動を始めら

[建設産業委員会 決算審査の様子]



れています。この橋を起点に、さらに周辺のまちづくりが進んでいけばと考えています。

決算認定に係る 討論

鈴木健一議員

一般会計歳入歳出決算では、地方税滞納整理機構負担金個人番号カード交付事業などを理由に反対します。

国民健康保険事業特別会計は、法定外繰り入れを行うことを求めます。

介護保険事業特別会計は、基金を取り崩す事を求めます。後期高齢者医療保険料特別会計は、制度自体に反対する立場から反対します。



議会事業評価を行いました

Q. 議会で行う事業評価ってなに？

A. 半田市が前年度に行った事業が、市民のために役にたったのか、有効性、妥当性、効率性の観点で評価し、その評価結果を翌年度の予算編成へ活かしていただくよう、市長に対し要望します。このくり返しにより今後の事業の改善につなげることができます。



議会事業評価へ

多くの施策の中から特に重要な施策を常任委員会分科会ごとに選定し、以下の3事業が対象となりました。

総務委員会

[主要事業名] 感震ブレーカー設置促進事業

[方向性・提案] 改善のうえ継続

▶これまでの事業に対する評価

- ・電気に起因する火災の被害軽減と防災意識の向上、高齢者が安心して暮らすことができることを目的に事業を地道に推進してこられたことは評価できます。
- ・自治区と協力した共同購入、戸別訪問、PR動画等による啓発活動は一定の成果があり評価できます。
- ・過去3か年の目標と実績値からコロナ禍であったが、事業として成り立っており、設置に至らない市民に対してのアプローチ方法や他の手法を検討、実施する必要性がありました。

▶今後の取組方と提言

- ・昨今、地震もなく市民の関心が薄らいでいる中であるが、今後は市内全域に対象エリアを広げ、対象者や製品の補助対象を拡充し、期限付きで積極的に取組んでください。
- ・感震ブレーカーは、地震時の出火を抑え、防災・減災対策として設置の必要性があるため、チラシ、SNS、市ホームページ、回覧板、防災訓練等での周知・理解促進、設置の取組は継続してください。

文教厚生委員会

[主要事業名] 学校生活支援事業

[方向性・提案] 拡充

▶これまでの事業に対する評価

- ・児童生徒数による配置基準を基に生活支援員等の配置は適切にされ、学校での生活の支援ができ評価できます。
- ・支援員の研修等がコロナ感染症の影響により2年間未実施である。技能の向上のための改善が必要です。
- ・多動傾向、日本語を十分理解できない等、特別な支援を必要とする児童生徒への対応が不十分です。

▶今後の取組方と提言

- ・支援員の研修や情報交換については、感染予防対策をとる、または、オンラインなど工夫して行うなど、継続的、定期的にレベルアップ研修の実施がされるよう改善を求めます。
- ・支援員の人員配置は、特別な支援が必要とする学校に違いがあることも勘案し、支援員の増員や配置時間の再検討を求めます。
- ・配置基準を超えて支援員を必要とする場合には、半田市教育支援委員会に意見を求め予算の増額をしてでも支援員の増員配置を求めます。

建設産業委員会

[主要事業名] 老朽化建築物取壊促進・空家対策事業

[方向性・提案] 改善のうえ継続

▶これまでの事業に対する評価

- ・老朽化建築物やブロック塀の取り壊しの推進は、目標を上回り、地域住民の生活保全に対応し、減災化を図る目的が達成できたと評価できます。
- ・空き家の発生予防の観点から、空き家バンクの充実等による空き家の利活用の促進は、PR不足の面から改善できる余地があります。

▶今後の取組方と提言

- ・老朽化建築物取壊促進事業は、引き続き継続してください。
- ・空き家バンクの登録が進むよう分析し、相談窓口となるべき空き家マイスターを市民に広く周知してください。
- ・空き家バンクの活用事例や空き家バンクを使うことのメリットを紹介するなど、具体的に市民に示してください。

議員勉強会を開催しました

開催日 10月11日(火)
場所 市役所5階 全員協議会室
 榑原顕太郎法律事務所
講師 代表弁護士 榑原顕太郎氏
テーマ 議員が保有する個人情報等の
 取り扱いについて



半田市議会では9月議会より議員1人1台のタブレット端末の活用が始まり、幅広く市民の皆様への情報発信ができるようになりました。そのために、何を情報発信し、何をしないのかは、議員の力量が問われることとなりました。そこで、半田市情報公開・個人情報保護審査会委員等の公職経験豊富な、榑原顕太郎弁護士を講師にお招きし議員勉強会を開催しました。

議員として特に留意すべき事項では、議員に守秘義務はなく、議員の情報発信は、市民の知る権利のため、民主主義を支える重要な役割があり、市民も情報発信を期待しています。しかし、議員活動で得た情報を無条件に他者に開示、発信することができるものではなく、プライバシーの侵害、肖像権侵害、名誉毀損を伴うような発信内容、発信の仕方は勿論のこと、個人情報保護法の趣旨に反する形での情報発信はできないとのことでした。その対策として、まずは常識的なバランス感覚を磨いたり、独善的な発信にならないよういったん他者に相談したり、ネットリテラシーを学ぶことが必要であるとのことでした。議員勉強会で学んだことを今後の議員活動に活かしてまいります。

今後の本会議の開催予定

12月定例会の日程

12月6日(火)から12月16日(金)

※会期中の日程は約一週間前の議会運営委員会で決定します



議会本会議の
 予定へ

あとがき

令和4年9月定例会から、議員にもタブレット端末が貸与されました。また、6月定例会からインターネット配信による本会議のライブ中継が試験的に開始されています。日々、生活のなかでもICT化が進むなか、半田市議会においても少しずつ進んでいます。ペーパーレスによる行政コストの大幅な削減や事務作業における効率化等が期待されます。今後も積極的に議会ICT化を進め、効果的かつ効率的な議会運営を進めていきます。

広報委員会

- 委員長 加藤 美幸
- 副委員長 中村 和也
- 委員 伊藤 正興 / 芳金 秀展
- 山田 清一 / 澤田 勝

編集・発行 半田市議会

〒475-1866
 半田市東洋町2-1
TEL 0569-184-0694
FAX 0569-124-7185
 E-mail: gjj@city.handa.lg.jp



QRコードは機アンソウウェブの登録商標です。

半田市議会へ